

史跡 鼻操南蛮樋

この樋門は元禄三年三月（一六九〇年）この地（中新開面積二十六町九畝廿三步約二五・八五ヘクタール）の築造時に潮止めのため設けられたものである。

当時この樋門の内側に鷹匠の池と言われる沼があり芦蒲が茂って鷺鴨が多く生息し鷹が行われていたと伝えられている。

大竹市教育委員会